

事業所における自己評価総括表（公表）

公表：令和7年2月1日

事業所名 あゆっこ益田

評価実施期間 令和6年11月1日～11月30日

保護者評価 / 対象者数 75名 回答者数 60名

従業者評価 / 対象者数 7名 回答者数 7名

訪問先評価 / 対象施設数 7件 回答件数 6件

自己評価表作成日 令和6年12月9日

分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別対応しているため、子どもさんの特性、興味、関心を熟知し、支援方法に精通している。	・サービス終了後、保護者に当日の様子を丁寧に説明している。 ・担当医師、保育所・小学校、相談支援事業所と、適時に情報交換している。	・保護者や関係機関と情報交換を重ねながら信頼関係を深め、子どもさんの発達支援に努めている。
2	・サービス利用時には、保護者が同伴している。	・子どもさんのサービス提供中に、保護者から困りごとの相談を受けている。 ・待機しているスタッフが、できるだけ話をする時間を持つようにしている。	・家庭内での対応について、自己研修の機会があれば案内する。
3	・児童発達支援利用者には6ヶ月毎に発達検査の案内をしている。	・発達状況を確認し、個別対応の課題を設定している。	・発達検査をするスタッフを確保し、放課後等デイサービス利用者も対象にしたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育所等訪問支援は頻度が月1回に限られる。 ・保育所以外の事業所の支援ができていない。	・派遣するスタッフは、個別対応も担当しており、時間を割きにくい。	・人材の確保と養成に時間が必要です。 ・適正に運営ができるシステムが必要です。
2	・市外の訪問支援事業所の場合は1日1カ所しか訪問できない。	・移動に時間がかかり、複数の事業所にサービスが提供できない。	・適正に運営ができるシステムが必要です。
3			